

資料 1 - 1
10月27日 (火)
社会教育委員会議資料

生涯学習ビジョンについて

さいたま市教育委員会

ビジョン策定に向けた様々な意見をいただきました



生涯学習推進部会

(職員・映画監督・PPPコーディネーター 18名)

6月22日

- 学びを積み重ねていくことは、人の**成長ストーリー**そのものである。
- 突如のコロナ禍は、**生き抜くためには学びが必要**だということ突きつけた。
- 未曾有の危機を克服するには、**新たな発想**で立ち向かうことが必要。そのことは、**個人の成長**や**地域の発展**にも寄与すると思う。
- 市として生涯学習を推進していくことは、**地域を創造していくこと**だと思う。
- こうした混沌とした時代だからこそ、市民と職員が**元気**で、**わくわくした気持ち**によって、未来を信じ、**夢とロマン**を共有することが大切だ。 など



社会教育委員会議

(市民・教育関係者・学識経験者 15名)

6月29日

- 本市の生涯学習所管課は、緊急事態になってからすみやかに、**数多くのコンテンツ**を提供し、その内容も濃かったことを評価したい。今後、利用者の意見を取り入れることもした方がよい。
- コロナ禍の影響で、**高齢者の情報リテラシー**が高まった。Zoomの講習会は人気が出ると思う。
- **言葉のシャワー**、**言葉のスクラム**を読んで感動した。こうした職員のボトムアップでバックボーンを作り、練り上げていく姿勢が素晴らしい。
- 情報を出しただけで終わっている例が見られるが、情報は、相手に届き、**正しく伝わってこそ意味がある**。 など



生涯学習推進検討会議

(議長：生涯学習部長、市長部局：17課
教育委員会：6課 24名) 7月29日

- 我々の事業が、市民に**生涯学習を提供している**という意識を改めて持つことができた。今後も連携していきたい。
- 「わくわく、元気で、夢を持ち」という言葉の使い方は、くどいようだが、行政計画にはない**新鮮さ**がある。
- 本市の強みである、**質の高い学びを推進するビジョン**という打ち出し方もいいと思う。
- 「**学び抜く**」という表現に歯を食いしばるイメージがあるので、他の文言と並ぶと違和感があるかもしれない。でも**印象に残る**。
- 「生涯学習」という言葉の意味を**市民に分かりやすく説明する**ビジョンとなればいいと思う。
- 分かりやすさを重視で、**日常でも使うような言葉遣い**がいい。など



さいたま市教育委員会
教育長・教育委員

7月30日

新しい時代に向けて、市民に分かりやすいビジョンとなるよう、しっかりと検討して、良いものを作ってほしい。



市民アンケート

(回収3,349件)
7月20日～8月末

結果は別添参照

- 【質問】生涯学習を行うようになった目的について
- 【質問】コロナ禍の影響で学習に関する意識や行動に生じた変化について
- 【質問】これからの時代に、学びを充実させるために重要なこと、必要なこと

改めて今、ビジョンを作る意義が見えてきました

社会の 変化

- ・技術革新やグローバル化の急速な進展
- ・長寿化に伴う「人生100年時代」の到来
- ・少子高齢化による労働力人口の減少
- ・社会の持続的な成長・発展に向けた国際的な政策動向（SDGs）など

コロナ 禍

- ・想定外の連続の中、困難に対応して生き抜いていくことが人類共通の課題
- ・新たな生活様式のもと、ICTを活用した新たな学び方の試行、導入、実践
- ・人と人とのつながりや地域コミュニティの大切さ、価値の再認識
- ・未曾有の危機に立ち向かい、克服するためには、行政だけでは到底不可能など

人生100年時代、幾度となく発生する可能性のある危機に向き合いながら、「**生涯を通して学び続けることが生きる原動力になる**」という普遍的な視点を持つことが重要である。



本市の生涯学習の理念を示す**ビジョンを新たに掲げ**、生涯学習の新しい姿を市民と共有しながら、**オールさいたま市**で生涯学習施策を推進していく必要があるのではないか。

そもそも、なぜ学んだらう？



人生が豊かになる

学び×自分

- ・趣味や教養が充実する
- ・生き方や仕事に活かせる
- ・リラックス、リフレッシュできる
- ・感性が豊かになる
- ・元気が湧く
- ・文化芸術に触れる機会が増える
- ・体力が向上する
- ・様々な可能性が高まる など

「個人」
の成長



つながりができる

学び×仲間

- ・認め合う気持ちが高まる
- ・新しいアイデアや考え方が湧く
- ・共感が生まれる
- ・居場所ができる
- ・お互いを高め合える
- ・他者を助けられる
- ・新しい人間関係ができる
- ・学んだことを共有してネットワークができる など

「輪」
の成長



交流が広がる

学び×コミュニティ

- ・世代を超えた交流ができる
- ・憩いの空間が生まれる
- ・大学、企業、NPO等多様な団体から学べる
- ・地域社会・コミュニティへの愛着が生まれる
- ・社会貢献の気持ちが芽生える
- ・地域の課題や困り事の解決が図られる など

「コミュニティ」
の成長

構成は分かりやすさを重視しよう！

はじめに

何のために学んだらう？
これからの時代に重要なことってなんだろう？

記載に当たり**大切**にしたいこと

- ◎ 「**分かりやすさ**」
→ 行政用語でごまかさない
- ◎ 「**フレンドリーさ**」
→ Let's (一緒に) の気持ちで
- ◎ 「**ゆるさ**」
→ イラスト多く、ビジュアル重視

本市が目指す生涯学習について

- 色とりどりの花が咲く 楽しい学び
- 豊かにつながる 学びの架け橋
- 学び合い支え合う 生き生きした地域



キャッチフレーズ

「わくわく 元気で 夢を持ち 新しい時代を学びぬく」
～学ぶことで人生は彩られる 輝きを増していく～

本市が目指す生涯学習について

色とりどりの花が咲く 楽しい学び

○自由な時間を使って自分の好きなことに打ち込んだり、興味のあることを学んだりすることは、暮らしの質を高め、人生を豊かにしてくれます。そして、もっと知りたい、もっと楽しみたいという好奇心や探求心がワクワクした気持ちを高めてくれます。思い思い、自分らしさが発揮できる場所や時間を持つことで、心の余裕も生まれ、いつしか未来への希望や夢も生まれてきます。そんな、彩り豊富な楽しい学びを続けることで、人生の可能性が広がってきます。

豊かにつながる 学びの架け橋

○楽しく学んだことが、自分の能力の維持や向上につながるのは嬉しいことです。さらに、自分ではない誰かと交流ができて、学んだ内容を教えたり、逆に知らなかったことを教えてもらったりすると、つながっているという気持ちが芽生えてきます。お互いの手助けによって、一人ではできなかったことでも仲間と一緒にならできるかもしれません。そうした成功体験や感動は新しい発見を得ることが出来ます。さらに、お互いを応援したいと思う絆が生まれてきます。

学び合い支え合う 生き生きした地域

○仲間と共に学んだことや行動したことが、目に見える成果として表れたり、困っている誰かの力になっていると思うことは、自分だけではなくて誰かの人生も豊かにしてくれます。人は一人では生きていけないからこそ、幸せに生きていくためには、みんなで支え合うことが大切です。楽しく学んだことが、世の中の役に立ったり、地域の課題を解決することに結び付けば、支え合いの優しい気持ちで包まれた、とても豊かな社会が実現できます。

そして、こんなイメージで「さいたま市生涯学習ビジョン」を描こう

全ての人々が活躍し、豊かで安心して暮らせる社会の実現
【生涯学習社会の実現】

世界の
持続的
な成長

地域活動

- 地域コミュニティを豊かにする
- よりよい社会づくりを目指す

新しい
価値の
創造

自己実現

- 学んだことを人生に活かす
- 学んだことを仕事に活かす

コミュニ
ティの
発展

さいたま市生涯学習ビジョンが目指す姿

- 色とりどりの花が咲く 楽しい学び
- 豊かにつながる 学びの架け橋
- 学び合い支え合う 生き生きした地域

夢や
目標の
実現

仲間と
の共感

学習コミュニティ

- 学びを共有し、ネットワーク化する
- 新しい考え方を獲得する

スキル
の向上

自分磨き

- 学びを楽しみ、深める
- 自分の能力や可能性を高める

活動へ
の動機
付け

学びのきっかけ

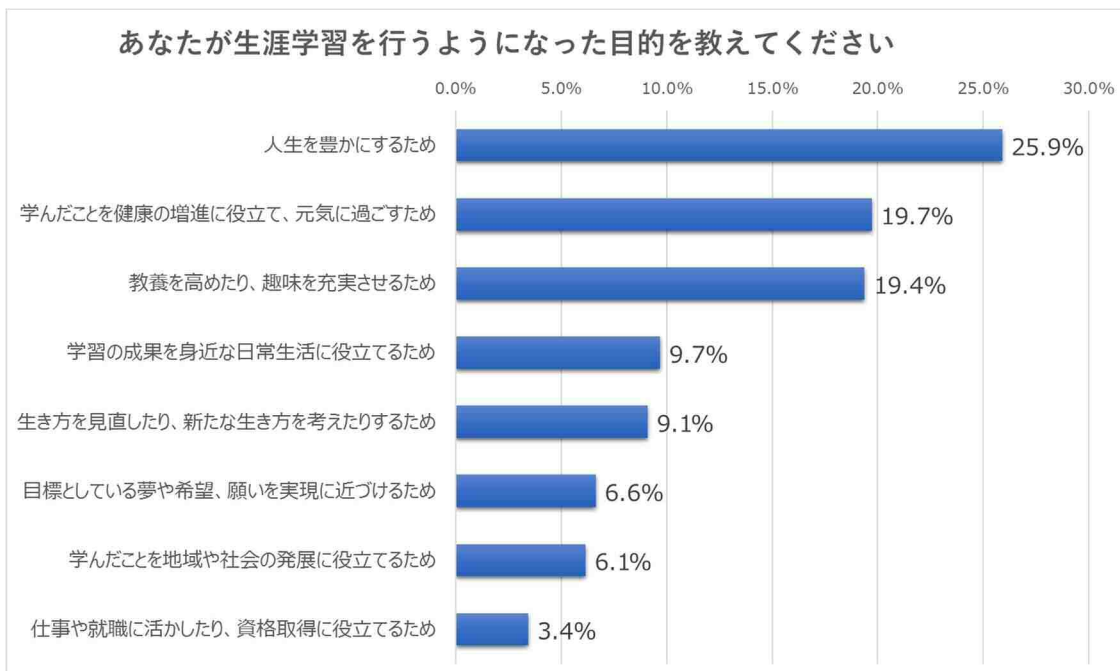
新たな
気づき

生涯学習に関するアンケート結果について

1 目的	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習に関する市民の意識を把握することで、市民の意見等を生涯学習の施策に広く取り入れ、新しい生涯学習推進のビジョン策定に向けた基礎資料として有効活用する。 ・本市が全庁を挙げて推進している SDGs の普及啓発に向け、SDGs に関する市民の認知度を把握する。
2 期間	令和2年7月20日（月）～8月21日（金） 33日間
3 配布場所	生涯学習振興課、人権教育推進室、文化財保護課（3課） 生涯学習関連施設（100館）
4 回答数	3,349件

■生涯学習を行うようになった目的について

- 第1位 人生を豊かにするため
- 第2位 学んだことを健康の増進に役立て、元気に過ごすため
- 第3位 教養を高めたり、趣味を充実させるため



■コロナ禍の影響で学習や行動に生じた変化について

第1位

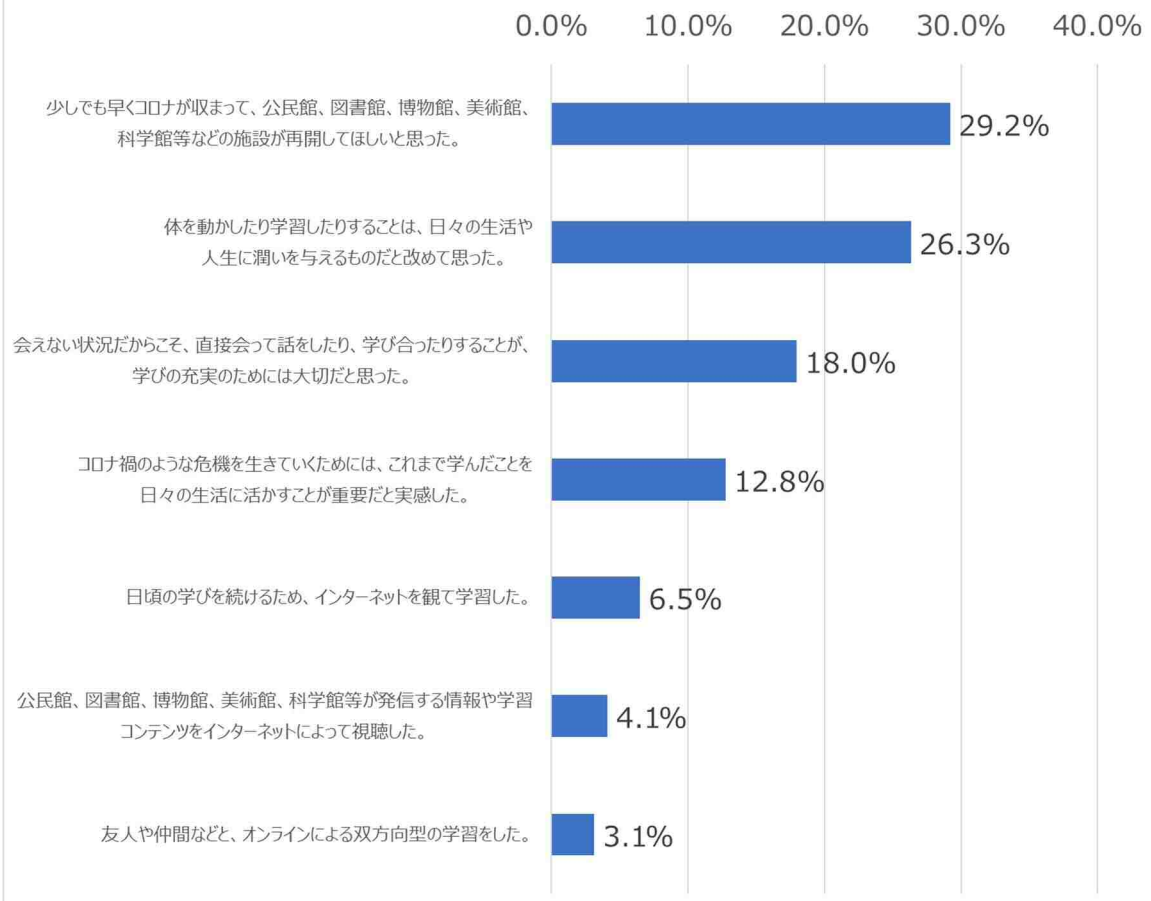
少しでも早くコロナが収まって、生涯学習関連施設が再開してほしいと思った。

第2位

体を動かしたり学習したりすることは、日々の生活や人生に潤いを与えるものだと思って

第3位 会えない状況だからこそ、直接会って話をしたり、学び合ったりすることが大切だと思った。

コロナ禍の影響で、あなたの学習に関する意識や行動に生じた変化について、教えてください。



■ これからの時代に、学びを充実させるために重要なこと、必要なこと（自由記述）

健康、体力、学ぶ意欲、コミュニケーション、あきらめないこと、好奇心や探求心、良好な人間関係、仲間、インターネットの活用、自分磨き、生きがいを持つことなどの意見を多くいただきました。

主な意見

■ 健康・元気

- ・健康と学ぶ意欲
- ・元気で生きること
- ・体力作り
- ・笑いのあること、楽しいこと
- ・気楽に続けること
- ・何事も体が資本なので体力をつけること
- ・心の若さを保つこと・早寝早起きと散歩
- ・健康と意欲
- ・時代の変化に対応できる柔軟な頭と元気な体
- ・心身の健康と生きがいをつくること

■ 意欲

- ・探求心を持つこと
- ・新しいことに挑戦すること
- ・受け身ではなく自ら学ぶ姿勢
- ・趣味の充実
- ・学ぶ楽しさを忘れないこと
- ・様々なことに興味を持ちチャレンジする
- ・好奇心
- ・意欲の保持
- ・気楽に楽しんで学ぶこと
- ・目標や夢に向かって努力すること
- ・意志力を持ち続ける
- ・好奇心のアンテナを張る
- ・わくわくした好奇心を失わないこと
- ・AI 技術の習得
- ・スマホの活用
- ・自ら学ぼうとする意志と好奇心
- ・向上心
- ・やる気
- ・やる気と勇気
- ・自分磨き
- ・我慢や忍耐
- ・自らの意思で学ぶ力
- ・興味のあることの深掘り
- ・好奇心、探求心を失わない心
- ・何事にも興味を持つこと
- ・色々なことへの挑戦
- ・あきらめずに継続すること
- ・社会貢献活動
- ・インターネットと対面の併用 ・適応能力

■ 人生観

- ・広い視野からものを見ること
- ・自分の価値観を持つこと
- ・仕事と余暇のバランス
- ・前向きに問題意識を持って行動すること
- ・前を向いて人生を歩む気持ち
- ・感謝の気持ち

- ・どんな状況でも継続すること
- ・具体的な目標を持つこと
- ・あきらめない心
- ・自分から積極的に動くこと
- ・何か目標を持つこと
- ・関心、興味、行動
- ・好きなことは歳を重ねても続けたい
- ・お金
- ・平和な世の中
- ・人のために尽くすこと
- ・多くのことに興味を持つこと
- ・地域の中で役割を果たす
- ・地域と連携した活動

- ・運
- ・ライフワークを完成させること
- ・コツコツ続けること
- ・年齢に応じた目標を持つこと
- ・色々なことを楽しむ気持ちでトライすること
- ・今を大切に生きること
- ・学びと実践を繰り返すこと
- ・人生の目的に向かって小さな希望を毎日持ち続けること
- ・ストレスをためないこと
- ・地球を回復させること
- ・人材の発掘

■教育環境

- ・ネット環境のフル活用
- ・伝統と最新技術の併用
- ・学ぶ時間の確保
- ・正しい情報
- ・行政による学びの支援
- ・施設の利便性向上
- ・学んだことを発表できる場所
- ・無料 WiFi
- ・安全に集える場所の確保
- ・学習情報の公開
- ・安心安全な世の中

- ・書籍のオンライン化
- ・学び直しの機会
- ・色々な情報に触れる機会
- ・大学の開放
- ・今まで学んできたことを発信すること
- ・世代間格差を埋めるような取組
- ・図書館などが閉まらないこと
- ・ネットと上手に付き合うこと
- ・動画配信の活用
- ・まずはコロナの終息
- ・講師へのコロナの補償

■出会い・つながり

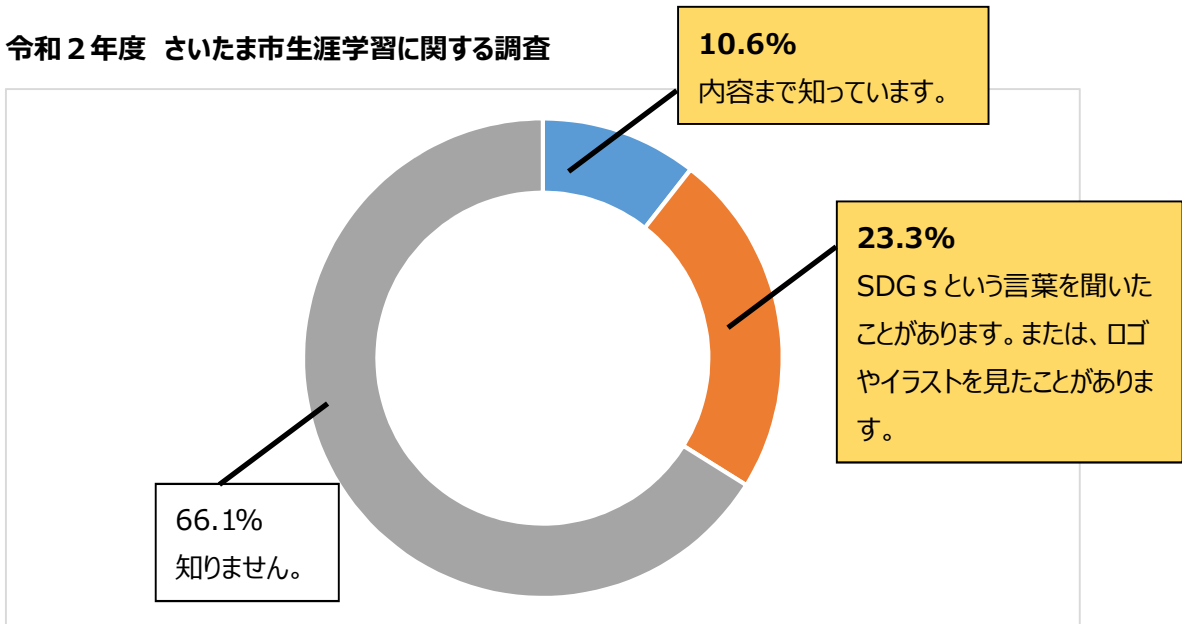
- ・コミュニケーション
- ・意見を言い合い話すこと
- ・お互いを思いやった行動
- ・人とのつながり
- ・仲間づくり
- ・良き師に出会うこと
- ・健康と良き友人
- ・年齢に関係ないサークル活動

- ・仲間を増やすこと
- ・良い人間関係
- ・やりたい気持ちを持ち、仲間に刺激を受けること
- ・地域の活動への積極的な参加
- ・人の輪
- ・思いやりの精神

■あなたは、SDG s についてどの程度知っていますか。

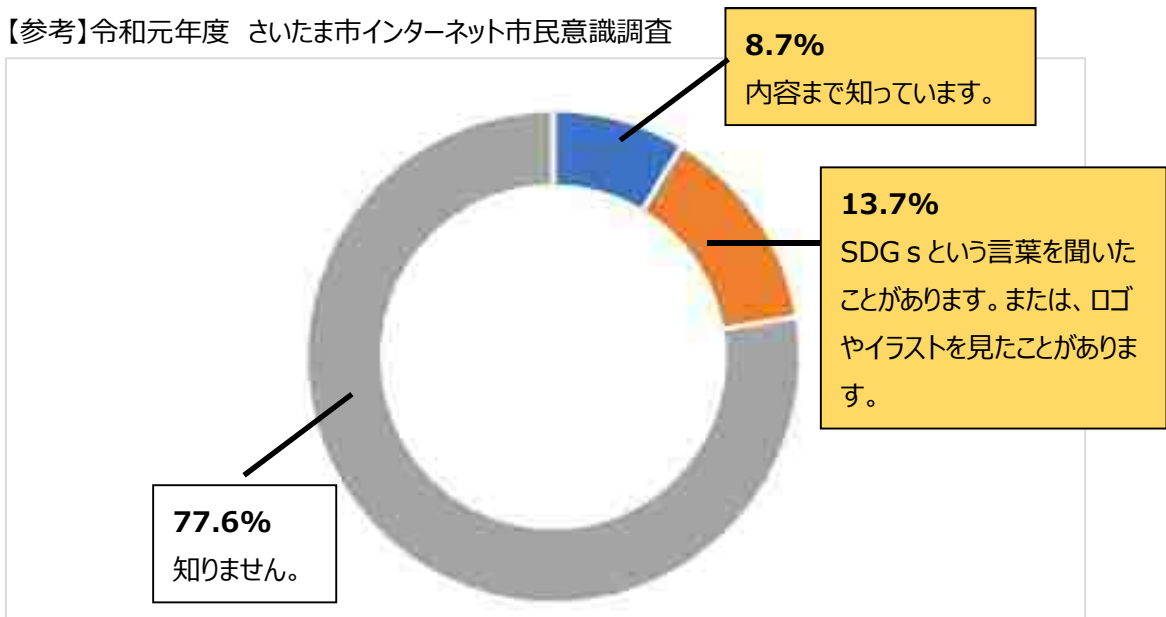
「内容まで知っている」「SDG s という言葉を聞いたことがある」「ロゴやイラストを見たことがある」人の割合の合計（SDG s の認知度）は34%で、知らない人の割合は66%でした。

令和2年度 さいたま市生涯学習に関する調査



※令和2年度…SDG s に関する市民認知度は 33.9%

【参考】令和元年度 さいたま市インターネット市民意識調査



※令和元年度…SDG s に関する市民認知度は 22.4%

色とりどりの花が咲く 楽しい学び

～新たな時代の新たな学びが、人生を彩ります～

資料 1 - 3



あなたはどんなことに興味がありますか？ もちろん、何が好きか、何を学びたいかは誰もが自由に思い描くことができます。自分の気持ちに沿って、自由に学ぶことはとても大切です。

でも、人生の様々な場面では、必要に迫られての学習もあります。それも社会で生きていくために通過しなくてはならないことです。学校での勉強もそうかもしれません。そうして学んだ基礎的な知識や考え方は、すぐには役に立たなくても、必ず生きる栄養となってきます。

こう考えると、学ぶってということは、人生を豊かにする選択肢を増やすことだと思いませんか。

そして、自分の好きなことに熱中したり、興味を広げていくことは、暮らしの質を高めてくれます。それは新しい発見の連続です。もっと知りたい、もっと楽しみたいという、胸がワクワクするような好奇心や探求心が高まって、毎日がうきうきして、明るい気持ちになります。

人の好奇心は泉のごとく湧き出てきますね。好奇心が向かう先は、人それぞれ千差万別です。例えば、人から、本から、インターネットから新たな知識や技術等を得て、それを日常生活や仕事、ボランティア活動に役立てることもできます。また、博物館や美術館、劇場での感動体験を種に変えることもできます。

学んだことは、人生を彩る花畑とすることができるのです。

それぞれが、自己を成長させようと何気なく行っていることは、全て学びになります。学びってという言葉を使わなくても、「自分磨き」っていう発想が一番合うかもしれませんね。

だから、自分らしさは自分磨きによっていっそう輝きます。今まで知らなかった、こんな自分に出会えるんだってという驚きもあります。そんな、自分らしさが発揮できる場所や時間を持つことで、心の余裕も生まれ、いつしか未来への希望や夢も生まれてきます。そうして、彩り豊かな楽しい学びを続けることで、人生の可能性が広がってきます。

未来を切り拓くきっかけは、自分の好きなことから始めてみませんか。自分らしく生き、自分らしく学び、自分の花を咲かせ、人生を輝かせましょう。

そんな新たな一步を、一緒に踏み出してみませんか。

豊かにつながる 学びの架け橋

～学びが架け橋となって、緩やかなつながりが生まれます～



楽しく学んだことが、自分の能力の維持や向上につながるの嬉しいですね。

そして、自分ではない誰かと交流ができて、学んだ内容を教えたり、教えてもらったりして、つながっているという気持ちが芽生えるのは素敵なことです。

「楽しい」「うれしい」という気持ちが、私のぶんと誰かのぶんが足し算されて、そしてその答えが掛け算されて、みんなに広く伝わっていくのは、考えるだけでも楽しくなりませんか。思い分かち合うことで、世界が広がっていきます。

人の可能性は無限大です。でも、人それぞれに得意分野や苦手な分野があります。私たちの身の回りには、目を見張るような才能を持っている人や、異なった文化や異なった価値観を持った人がたくさんいて、その人たちから自分が知らないことを学ぶことが多くありますね。

さて、これからAIと呼ばれる人工知能が進化して、多くの作業を高度なコンピューターが人間の代わりにやってくれる時代が来ます。いや、もう来ているかもしれません。でも、想像力を働かせて、未来を夢見描いていくのは人間の仕事です。なぜならば、もっと知りたい、もっとやってみたいという意欲や、幸せや喜びを実感できるのは、人間ならではの感性によるものだからです。

だから、目まぐるしく変化して、どんなに予測が困難な時代になっても、みんなの知恵と行動で乗り切ることが出来ます。気持ちの足し算と掛け算は、こんなときにも力を発揮しますね。それは私たちが今生きていることが証明してくれます。人類が減びずに命をつないできたのは、困ったときには助け合って、どうしたら困難や苦勞を乗り越えられるかを考え、ともに行動してきたからです。

そうすると、一人で行っている学びも、誰かとやれば新しいアイデアが生まれたり、悩んだことが解決したりすることで、一人ではできなかったことが実現できるかもしれません。一緒に学ぶ仲間が増えたり、経験を語り合える場所があることは、人生に張り潤いと潤いを与えてくれます。さらに、お互いを応援したいと思う絆や、人と人との架け橋も生まれてきますね。

自分が学んだことはそれだけで価値のあるものです。そして、誰かと学んだことを共有することで成功体験や感動も一緒に味わうことができます。自分だけでは発掘できなかった何か。それを「新しい価値」と言っていいたかもしれません。つながり、耕され、豊かになっていく学びの世界を一緒に開拓してみませんか。

学び合い支え合う 生き生きした地域

～学び合いと支え合いが 幸せな未来のまちをつくります～



認め合える仲間や居心地の良い場所を見つけたら、ずっと大切にしていきたいと思いませんか。

仲間と共に学んだことや行動したことが、目に見える成果として表れたり、誰かの力になっていると思うことは、自分だけではなくて、他の誰かの人生も豊かにしてくれます。

人は一人では生きていけないからこそ、幸せに生きていくためには、みんなで支え合うことが大切です。

学び合うことはお互いを認め合うことです。もちろん、意見や考え方の違いもあります。そして、社会の一員としてそれぞれ役割を果たさなくてはなりません。でも、学んだことが、世の中の役に立ったり、地域の課題を解決することに結び付けば、支え合いの優しい気持ちで包まれた、とても豊かな暮らしが実現できると思います。

そして、困ったひとがいたら助けてあげるっていう、当たり前なのが当たり前でできる人々が住むまちは、市民みんなが幸せを実感できる場所ではないでしょうか。学び合い認め合いながら、色々なことでお互いに助け合ったり、受け入れたりして、ここが自分の居場所だと思えるところがあるのは、安心して住み心地の良い暮らしにつながります。

こんな暮らしが、笑顔のあふれるまち、もっと言えば、夢や目標を叶えてくれる、私が私らしくなれるまちをつくっていくのだと思います。

学びをきっかけに、そんな素敵なまちをつくることができたら、どんなに素晴らしいことでしょうか。

自分のため、家族のため、仲間や友達のため、さらに住んでいるまちや故郷のため、そしてかけがえのない地球を未来に継承していくため、学びで紡がれ、自分が自分らしく生きていけるまちを一緒につくっていきませんか。

それは、生涯にわたって学びを重ねて、夢と志を持って、生きがいを見つけて、健康で幸せにくらすことができる人があふれるまちです。

さいたま市は、学び合いと支え合いで、幸せな未来のまちをつくっていきます。